

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市子ども夢パーク	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 川崎市子ども夢パーク共同運営事業体 公益財団法人川崎市生涯学習財団 理事長 金井 則夫 川崎市中区今井南町514-1 ・構成員名 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば 理事長 西野 博之 川崎市高津区千年435-10	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成23年4月1日 ~ 平成28年3月31日	所管課	こども未来局青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数:91,895人 (平成26年度:91,437人)	②年間延べ利用団体数:769団体 (平成26年度:908団体)																										
収支実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="text-align: right;">単位:円</td> </tr> <tr> <td>1 収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 指定管理料</td> <td style="text-align: right;">64,708,729</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td style="text-align: right;">64,708,729</td> </tr> <tr> <td>2 支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 人件費・賃金</td> <td style="text-align: right;">22,945,442</td> </tr> <tr> <td> 光熱水費</td> <td style="text-align: right;">3,900,404</td> </tr> <tr> <td> 委託費</td> <td style="text-align: right;">8,859,727</td> </tr> <tr> <td> 消耗品費</td> <td style="text-align: right;">986,724</td> </tr> <tr> <td> 修繕費</td> <td style="text-align: right;">792,809</td> </tr> <tr> <td> その他経費</td> <td style="text-align: right;">25,815,609</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td style="text-align: right;">63,300,715</td> </tr> <tr> <td>3 差引</td> <td style="text-align: right;">1,408,014</td> </tr> </table>			単位:円	1 収入		指定管理料	64,708,729	合 計	64,708,729	2 支出		人件費・賃金	22,945,442	光熱水費	3,900,404	委託費	8,859,727	消耗品費	986,724	修繕費	792,809	その他経費	25,815,609	合 計	63,300,715	3 差引	1,408,014
	単位:円																											
1 収入																												
指定管理料	64,708,729																											
合 計	64,708,729																											
2 支出																												
人件費・賃金	22,945,442																											
光熱水費	3,900,404																											
委託費	8,859,727																											
消耗品費	986,724																											
修繕費	792,809																											
その他経費	25,815,609																											
合 計	63,300,715																											
3 差引	1,408,014																											
サービス向上の取組	川崎市子どもの権利に関する条例の理念に沿った事業展開を実施していた。また、利用者や地域住民の意見を運営に反映させ、サービス向上に取り組んでいた。																											

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	3	3
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	5	5
(評価の理由) 子どもたちの育ちに応じ「遊び」をつくり出すことを尊重し、「自分の責任で自由に遊ぶ」という理念を持つプレーパークを設置・運営し、そこでの活動を通して、子どもも大人も共に成長していけるような環境を整備しているほか、生涯学習の視点に基づき、子どもたちの学校外の育ちと学びを保障する居場所を創出し、子どもの年齢、学校に行っている・いない、障がいの有無、国籍などに関わらず、年間を通じてさまざまな子どもや親を支援し、関係諸機関と連携を図っている。また、子どもの最善の利益を優先し、子どもの権利を全面的に保障することを目的としてつくられた夢パークの理念を十分に理解し、子ども・若者たちが安心して過ごせる居場所の運営を行っている。さらに、こうした取り組みについて、新聞、ラジオ、テレビ、地域情報誌等メディアを利用し、イベント、自主企画事業や活動の様子を発信しているだけでなく、取材を積極的に受け入れ、夢パークの理念、活動の様子を伝え、認知度の向上、利用促進を図っている。これにより、平成27年度は、多くの子ども・若者及び地域住民の方々子ども夢パークを利用し、第1期指定管理時と比較して、第2期は約28.2%の増であった。 【参考】第1期指定管理時(平成18年度～平成22年度)年度平均利用者数:69,296人					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	3	6
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
(評価の理由) 仕様書に基づき、適正な会計処理が行われた。光熱水費、什器備品費等の増加が見られたが、内部講師の活用による諸謝金など他経費の削減を行い、適切な支出を行った。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	5	10
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	4	8
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由) 定期的な広報誌の発行、ホームページでの施設、イベント紹介、新聞・テレビ・ラジオ・情報誌等のメディアを利用したPR、JR南武線の乗客に向けた大きなカッティングシートの施設名表示など積極的に広報している。 国や行政、学校関係、さらには海外の団体等の視察を積極的に受入れ、施設や事業の周知に寄与した。 利用者への接遇について、子どもの利益、権利を守るため、職員の資質向上、安全確保、危機管理等の研修機会を多く設け、スキルアップを図り、適切な対応している。 地域団体・学校からも参加する施設の運営協議会を開催して意見などを運営に活かしているほか、町会等による地域の意見交換会に参加して地域課題の共有を積極的に図っている。不登校児童の居場所事業では、市・県の協議会への参加や、広く国とも連携した職員・教員の研修等の受入れにより、子どもの居場所施策の推進に大きく貢献している。 子ども、若者の自主性を重視して、アンケート等により意見を集め、行事の企画、運営に利用者も携わりその意見を反映させ、事業の運営を推進した。					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	4	4
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
(評価の理由) 必要な資格者が採用され、計画どおりの人員配置が行われた。 年間を通して予定どおりの研修が計画的に実施され、特に発達障害を始めとする様々な障害への理解を深める研修を引き続き実施した。また、外部研修にも積極的に参加し、他の類似施設の視察等も実施した。 個人情報の取扱いについては、適切に運用された。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保			
	防犯対策	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	3	3
		施設の防犯のための工夫がされているか			
	災害への対応	緊急時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3
		避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか			
災害への対応	災害発生時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3	
	災害発生時のマニュアル等が整備されているか				
(評価の理由) 利用者の安全を確保するため、毎月の定期的な点検で修繕の必要な箇所を把握し、適正な修繕を行っている。 事故等が発生した場合のマニュアルが整備され、研修等により職員への周知が図られ、適切な対応がされている。 地域と連携した防犯体制が構築され、緊急時のマニュアルも整備されている。 災害発生時のマニュアルが整備されており、適切に運用されている。また、法定訓練等も実施されている。					

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、
C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、
E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

川崎市子どもの権利に関する条例の理念に基づく象徴的な施設である子ども夢パークについて、子どもの、子どもによる、子どものための施設として、その権利条例の具現化が図られるような施設運営を行なっている。単に、子どもが遊び、夢を育む場、子どもの活動の拠点及び居場所を提供するだけにとどまらず、子ども、若者の自主性を重視し、その主体的な取り組みを尊重し、自発的活動を支援することにより、それぞれの子どもに応じた成長及び子どもの地域等における活動への参加の促進に寄与しており、利用者のニーズを十分に把握して事業推進を図ることで、利用者の増加につながっている。特に、子ども夢パークの主要事業のひとつである「不登校児童生徒の居場所」については、指定管理者の専門性や人的ネットワークを活かした様々な活動が行われている。自由な遊び場や不登校児童生徒及び引きこもり対策への需要の高まる中で、そのようなニーズに迅速かつ柔軟に対応していることは非常に高く評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

子どもの居場所づくり、自主的、自発的活動を支援するため、引き続き事業者、地域一体となって適切な管理運営を行うとともに、各種広報媒体の活用により事業等の周知に努めること。